

I

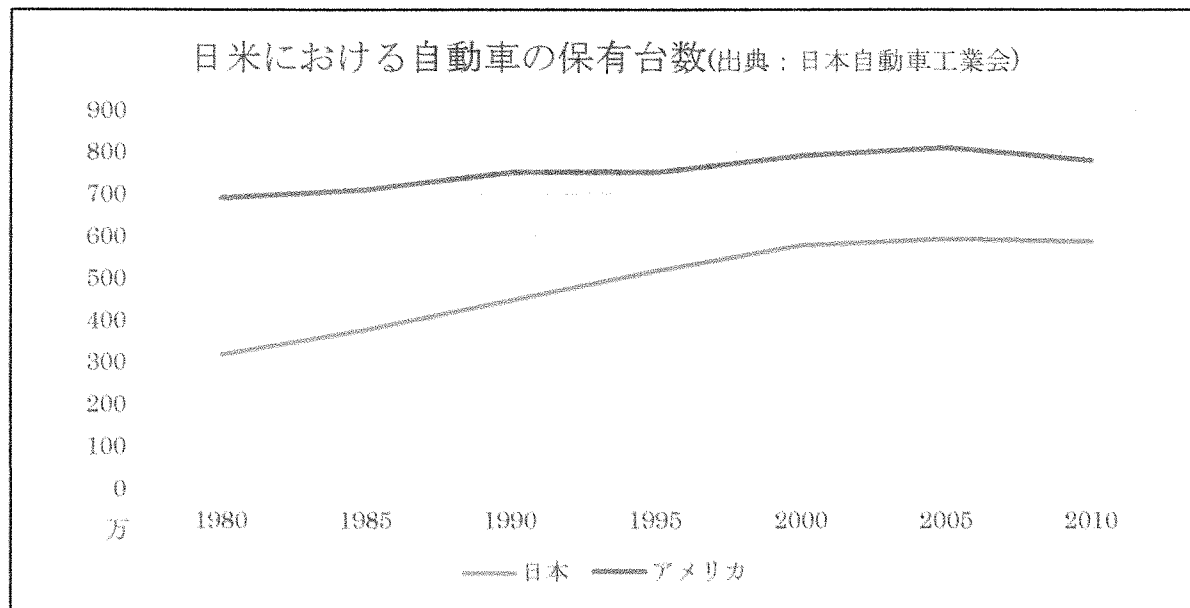
四人の生徒が環境問題についての標語を決めるために話し合っています。そのディスカッションの様子を記した以下の文章を読んで問いに答えなさい。

先生：環境問題を解決するためには、グループごとに良いキャッチコピーや標語を考えてみましょう。では、始めてください。

すなおくん：じゃあ、ぼくが班長だから司会をするね。何か意見がある人はいますか。
こころさん：はい！私は、おばあちゃんから、昔は環境に優しい生活をしていたという話を何度も聞いたわ。つまり、昔のような生活がいいってことでしょ。それをわかってもらえるために……。そうだ！「温故知新」を使うというのはどうかしら？そうねえ…「地球のために温故知新！」はどうかしら。

ともこさん：それはとても良い提案だと思います。江戸時代の人々は本当にエコな生活をしていました。例えば、一つの着物が破れても何回もぬい直して使い、どうしてもダメになったらぞうきんにして、最後は燃やして肥料にしていたそうです。一つのモノを3回も再利用するなんてすごいですよね。

ひかるくん：それも良い標語だけど、もっと具体的なデータを出してわかりやすい行動を示すほうが良くないかな。ここに2つのグラフがあるだろう。



*日本の面積約 380 km² アメリカの面積 9,800 km²

これを見ると、アメリカに比べて国土のせまい日本に車が多すぎることがわかるから、「環境のために電車通勤をしよう」というのはどうか？

すなおくん：そもそも、環境って本当に悪くなっているのかな？よく地球温暖化と言って

北極や南極の氷がとけているような話を聞くけど、そうはいつでもぼくが実際に南極や北極をみたわけではないし、それに二酸化炭素が増加しているといつても実際に自分で調べたわけではないし…

こころさん：確かにすなおくんの言う通りだわ。テレビや新聞ではよく環境問題という言葉を目にするけど、実際にどういう状態になっているのか、自分で確かめたことはないわね。そうだ、キャッチコピーを考える前に、みんなで身近な環境問題を見つけてみるというのはどうかしら？

問 1 下線部アの「温故知新」という四字熟語を使って環境問題について説明し、それに対するあなたなりの考えを述べなさい。ただし、江戸時代の例は使わないものとする。(10点)

問 2 下線部イについて、江戸時代の人々はなぜモノを大切にしていたと思いますか。現在のあなたの生活と比べながら、あなたなりの考えを述べなさい。その際、以下の指定語句を必ず1つ使用し、下線を付すこと。

(指定語句は2つ以上用いてもよい。)(10点)

指定語句 殖産興業 ポツダム宣言 五人組 朱子学

問 3 下線部ウは会話文中のグラフをひかる君が分析した意見である。なぜ、このようなことがグラフから読み取れるのか説明しなさい。(10点)

問 4 下線部エに関して、空気中の二酸化炭素が増加していることを調べるためにはどんな方法があるか。あなたなりの意見を書きなさい。(10点)

問 5 下線部オに関して、この4人と一緒に身近な環境問題について調べていくとしたら、どんなことをしたらよいか書きなさい。ただし理由も説明すること。(20点)